

延島英一 のびしげ 評論家、翻譯家。明治二十五年六月東京生れ、昭和
四十四年七月六日歿（一九〇二—六九）。筆名高倉共六平。大正八年近藤憲一
和田久大郎、村木源次郎等と労働問題演説會を創る。翌年日本社會主
義同盟發起人と稱る。十一年東京印刷工組合結成に參與、また和田、
村木、岩佐作太郎等と第四次『労働運動』發刊。十四年京産印刷所争
議で入獄。その後、翻譯、著述に従事。

著書に『インタナショナル史』（昭和六年一月一日解放社「各國社
會運動史全集」）等。譯書に、チエルケヅフ著『共產黨宣言の種本』
（昭和二年十一月、二十日金星堂「社會科學叢書」）、ルードビヒ・イ
エケル大著『ナポレオンの精神分析』（昭和十二年七月十九日岡倉書
房）、Y・フロロフ著『電話の答へる魚—各種動物に於ける習性形
成能力の研究』（昭和十七年十月十五日岡倉書房「岡倉選書」）、ハ
ロールド・ピーケ著『農業の起源』（昭和十八年九月、二十日拓南社）
等。